

書き損じハガキ・ 切手でカンボジアの 車いす工房を応援 してください。



©Yoshifumi KAWABATA

ご家庭で不要になったハガキ・未使用切手が 障がい者の社会参加を支えます。

AAR Japan [難民を助ける会] が1994年に設立し、2006年より現地NGOとして独立したカンボジアの車いす工房「WCD」。車いすや歩行器などを貧困家庭に無償提供し、また障がい者支援団体への有償提供を行うことで、年間約240人の障がい者の社会参加を促進しています。また工房では障がいのある職員を雇用することで自立を支えています。しかし現在、この車いす工房の財政状況が大変厳しくあります。書き損じハガキや未使用切手をWCDの運営資金として活用させていただくことで、より多くの方に車いすや補助具を届けて参ります。どうぞご協力をお願いいたします。

募集期間：2024年4月30日まで

目標枚数：ハガキ・切手 70,000枚

集めているもの：①書き損じた年賀状・官製ハガキ

②未使用の年賀状・官製ハガキ ③未使用の切手

必要数を超えた場合は、最も必要とされる支援活動に充てさせていただきます。

社会の一員として活躍するチャンス



カンボジア駐在員
向井郷美

車いすは移動手段としてのみならず、家庭や地域で自分の役割をみつけて取り組んだり、就学や就業などの社会参加の機会を得たりすることを後押しします。現在、車いす工房の運営が厳しい状況です。支援を通じて、カンボジアの障がい者に社会の一員として活躍するチャンスをくださいますようお願い申し上げます。



ハガキ100枚で、歩行器を
1台製造できます。



ハガキ450枚で、車いすを
1台製造できます。



ハガキ1,000枚で、工房職員
1人を1カ月雇用できます。

恐れ入りますが送料のご負担をお願いいたします。
下枠を点線で切り取り、宛名としてお使いください。

2023-2024 Cambodia

〒840-0826

佐賀県佐賀市白山1-4-28 佐賀白山ビル303号室

AAR Japan [難民を助ける会] 物品募集係

2022年度 書き損じハガキキャンペーンへのご協力ありがとうございました



昨年度に実施した書き損じハガキ・切手キャンペーンでは、多くの皆さまより8万5,393枚をお寄せいただきました。ご支援に、心より御礼申し上げます。

AARが活動するウガンダの難民居住地で計8,879名（小学校15校、中学校2校）の子どもたちに、学習に必要なノートやペン、鉛筆を届けました。

ウガンダの難民居住地の学校では教科書が配付されないため、子どもたちは授業内容を書き写したノートを教科書がわりにしています。ノートがないと授業の記録や復習ができず、授業についていけなくなることがあります。学校を休みがちになり、学校をやめてしまう子もいます。文房具を受け取った子どもたちは、「これから勉強を頑張る」「夢に向かって努力する」と話してくれました。

子どもたちの輝かしい未来を応援いただき、本当にありがとうございました。

将来はエンジニアになりたい ナチササさん（中学1年生）

紛争から逃れるため、親戚と一緒にルワンダからウガンダに来ました。家族は戦闘で亡くなっています。親戚は子どもが多い大家族で、家族を養うのに精いっぱいなので、私の学用品を買う余裕がありません。そのため、私は学校に行けない日がありました。

今回AARから文房具をもらえて、とても嬉しいです。これから毎日授業に出席し、良い成績をとれるよう頑張ります。勉強に励んで将来はエンジニアになりたいです。



AAR Japan

認定NPO法人 難民を助ける会

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル7F

TEL.03-5423-4511 FAX.03-5423-4450 www.aarjapan.gr.jp

佐賀事務所 〒840-0826 佐賀県佐賀市白山1-4-28 佐賀白山ビル303号室 TEL:0952-37-5380



www.twitter.com/aarjapan



www.instagram.com/aar_japan/



www.facebook.com/aarjapan